



糖尿病と非糖尿病カリブ人における肝機能障害の血清アディポネクチン濃度と酵素マーカー

KEYWORDS// アディポネクチン, 糖尿病, 肝機能

低アディポネクチン濃度は、血漿アラニンアミノトランスフェラーゼ活性上昇と関係する。著者らは、糖尿病患者および非糖尿病患者における血清アディポネクチン濃度とアラニンアミノトランスフェラーゼとの関係について、2型糖尿病患者56人および非糖尿病患者33人を対象として検討した。測定はアラニンアミノトランスフェラーゼ、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ、アルカリホスファターゼ、グルコース、インスリンについて行った。血清アディポネクチン濃度は糖尿病患者のほうが非糖尿病患者よりも低かったが、アラニンアミノトランスフェラーゼおよびアルカ

リホスファターゼは両グループ間に差はなかった。

女性非糖尿病患者は、血清アディポネクチン濃度が女性糖尿病患者よりも高値であったが、アラニンアミノトランスフェラーゼに差はなかった。糖尿病患者と非糖尿病患者において、アディポネクチンとアラニンアミノトランスフェラーゼに相関はなかった。低血清アディポネクチン濃度は、糖尿病患者の肝機能障害に有効なマーカーとはいえなかった。

(Ezenwaka CE, Kalloo R, Uhlig M, et al : Serum adiponec-
tin levels and enzyme markers of liver dysfunction in
diabetic and non-diabetic Caribbean subjects. Br J Biomed
Sci 63 : 117-122, 2006)

(埼玉県立大学短期大学部 鈴木優治)